

ボッチャ競技規則より抜粋

4.競技分類

4.1. 一般

6 部類あり、各部門男女どちらでもよい。

個人 BC1.

個人 BC2.

個人 BC3.

個人 BC4.

ペア、BC3 に分類された競技者

チーム、BC1,BC2 に分類された競技者

4.2. 個人 BC1.

CP-ISRA 分類システム、C1.又は、C2.(L)により分類された競技者。競技者はクラス 1 として等級されねばならない。各競技者は 1 人の介助者に補助をうけても良い。介助者は、スローイングボックスの後ろ、少なくとも 2m の所に待機していなければならない、明らかに競技者に要求された時のみ介助することができる。これらの介助者は次の行動が求められる。

- ・ 競技者の車椅子を調整し安定させる。
- ・ 競技者にボールを渡す。

4.3. 個人 BC2.

CP-ISRA 分類システム CP2.(U)により分類された競技者。競技者は、介助されないこと。

4.4. 個人 BC3.(補助具使用競技者)

先天的、あるいは後天的に手足のきびしい機能障害の競技者がプレーする。競技者は、自分の機能で前進できず、補助具、又は電動椅子に依存している。競技者はボッチャボールをコートに投げるといった動作が不十分なため、支えたり、離したりする動作ができずらいが、腕は動く。各競技者は、スローイングボックス内でコートに背を向けている介助者の補助を受けられる。(13.1./11.1{3}参照)

4.5. 個人 BC4.

上下肢と体幹のきびしい機能障害の競技者がプレーする。競技者は十分器用に操作し、ボッチャボールをコート内に一貫して投げることができるということを十分証明できるであろう。離したり、ふりきるタイミングが乏しく、つかんだり、離すことが乏しいというのは明白である。滑らかさの制御、動きのスピード、同時性も見れるであろう。競技者は介助者により介助を受ける資格はない。

4.6. ペア

個人 BC3.でプレーする資格がある競技者。各競技者は個人競技に基づいた規則により、介助者から介助を受けても良い。スローイングボックスは、2~5 が使用される。

4.7. チーム

個人 BC1.又は、BC2.でプレーする資格の競技者。1 チーム少なくとも 1 人の BC1.を含んでいなければならない。補助具を使う競技者は参加資格がない。各チーム 1 人の介助者が認められているが、個人 BC1.に基づく規則を守らなければならない